

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅の乗降客数	人/日	16,622	17,000	20,450	確定 見込み ●	○	あり なし	18,575	H22年4月	○	<ul style="list-style-type: none"> 評価値を計測した平成21年度は、原油高騰の煽りを受け、一時的に自動車通勤から鉄道通勤に切り替えた客が増加した特異な年であったため。 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	駅前広場や自転車駐車場、駅周辺の道路や歩道整備等により、交通結節点機能が強化され、乗降客数の増加につながった。
指標2	居住人口	人	15,663	16,000	15,916	確定 見込み ●	△	あり なし ●	16,015	H22年4月	○	<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	土地区画整理事業により宅地供給が進み、居住人口の増加につながった。
指標3	鉄道南部と北部の交流人数	人/日	15,260	25,000	15,785	確定 見込み ●	△	あり なし ●	15,824	H22年7月	△	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差事業により南北を横断する道路が複数整備され、自動車交通量が分散されたことにより、駅周辺の交流人口の増加につながらなかった。 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	連続立体交差事業により南北を横断する道路が複数整備され、自動車交通量が分散されたことにより、駅周辺での交流人口の増加につながらなかったが、歩行者の数は増加していることは一定の効果として評価できる。
指標4	中心市街地への通行者数	人/日	313	10,000	計測不能	確定 - 見込み -	-	あり - なし -		H 年 月		<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	従前値の過誤認識による数値ミスがあり、計測不能となった。
指標5						確定 見込み ●		あり なし		H 年 月		<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	蒲郡駅前商店街店舗数の年平均減少率	%	3.1	/	1.6	確定 見込み ●	/	/	1.5	H22年1月	/	<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	駅周辺整備及び土地区画整理事業の推進により、新店舗の開店等が見られ、商店の減少が緩やかになった。
その他の数値指標2	鉄道南部と北部の交流歩行者及び自転車数	人	2,434	/	3,558	確定 見込み ●	/	/	3,581	H22年7月	/	<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	駅周辺の歩道整備や自転車駐輪場の整備により、歩行者や自転車が利用しやすく、また連続立体交差事業の実施により南北を往来しやすい空間を創出したことが増加につながった。
その他の数値指標3	居住人口増加率	%	▲ 0.6	/	0.3	確定 見込み ●	/	/	0.4	H22年4月	/	<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	土地区画整理事業により宅地供給が進み、居住人口の増加率の向上につながった。

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	観光客の受け入れ体制の強化及びボランティア活動の推進	「観光地という特性を活かし、笑顔で人や文化が交流するまちづくり」を整備方針として、「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」を作成。観光客が蒲郡の観光資源を巡れるようなもてなしの環境づくりのため、サイン看板の設置や観光交流センターの建設を盛り込んだ。	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」に基づき、社会資本総合整備交付金事業を平成22年度から実施。特に観光交流センターは平成23～24年度に建設予定である。	・観光都市として地区内外にPRなどを行っていくこととし、その活動拠点として観光交流センターの整備をする。
	さらなる駅の利便性の向上	「人と自然が共生する住環境整備を促進し、快適で住みよい市街地の形成を目指す」を整備方針として、「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」を作成。モーダルシフトに向け、新たに蒲郡駅東駐輪場の建設及び安全対策として防犯カメラの設置等を盛り込んだ。	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」に基づき、社会資本総合整備交付金事業を平成22年度より開始。そのうち蒲郡駅東駐輪場建設及び防犯カメラの設置は平成24年度を予定している。	・駅利用者増加に伴う受け入れ態勢を強化する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	道路や公園などの都市基盤整備の推進とともに、住民満足度の向上	「人と自然が共生する住環境整備を促進し、快適で住みよい市街地の形成を目指す」を整備方針として、「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」を作成。道路整備事業、土地区画整理事業、公園事業、駅前公衆便所の整備等を盛り込んだ。	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」に基づき、社会資本総合整備交付金事業を平成22年度～平成26年度の5カ年計画で実施。	住民の意向に沿った事業計画と都市基盤整備の継続的な推進を図る。
	人口の定着や鉄道南北の往来増加に伴い必要性が高まる、安全・安心まちづくりの推進	「住民が安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域の安全性向上を図る」を整備方針として、「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」を作成。歩道の整備、自転車駐輪場に防犯カメラの設置等を盛り込んだ。	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」に基づき、関連事業として、防犯等の設置や、平成24年度に自転車駐輪場の防犯カメラ設置を予定している。	・人口の定着、観光客の増加に伴う各種都市機能における安全性の向上
	さらなる駅の利便性の向上と観光施設の充実	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」を作成。その中で、塩津駅周辺整備や駐輪場の新設。また市内の観光施設のリニューアル事業を盛り込んだ。	「都市再生整備計画 蒲郡安心住まいる地区」に基づき、社会資本総合整備交付金事業として、塩津駅周辺整備を平成22年度より開始。観光施設のリニューアル事業も平成22年度～平成24年度を予定している。	・交通拠点である駅と、観光施設等を結び、人や文化が交流するまちづくりの推進

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
人口の定着に寄与する子育て支援の充実	南部保育園の建替え事業、がまごおり児童館の建替え事業などの実施	H22～H24	建替え中の施設機能を確保。利用者に不都合を感じさせたり、現時点での満足度を低下させない代替え施設が必要。